

## 概要版

# 守山市立図書館整備基本計画書（案）

～本と人が出会い、人と人がつながる知の広場を目指して～



### 「本と人が出会い、人と人がつながる知の広場」

図書館は市民と本との出会いを生み出す場となり、本をとおして人と人がつながる場となります。

市民が求める情報を的確に提供し、また来館した人が読みたくなるような本に出会うことができるように、多種多様な資料を集め、知的好奇心を刺激するようなコーナーを作り、本を見せる工夫をしていきます。

また、同じ課題を持っている人達がつながり発展していく機会を作るためにいろいろな働きかけをしていきます。そうして市民が集い、高めあい、つながる知の広場（図書館）を目指します。

本と出会い  
心豊かに過ごせる  
図書館

多くの人が集い  
地域の活力となる  
図書館

人と人が  
つながる  
図書館

平成 27 年 3 月

守山市教育委員会

## 策定の経緯

- 守山市立図書館は、昭和53年に、滋賀県内の公立図書館として戦後最初、かつ他に先駆けコンピューターシステムを導入した先進的な図書館として開館。当初は約600㎡の2階建てだったが、平成元年に増改築し、現在の約2,700㎡3階建てとなる。
- 開館以来の貸し出し冊数も現在約1,230万冊となり、多くの市民に利用していただき、豊かな暮らしに役立つ図書館づくりを進めている。
- 開館当初に比べ、人口の増加と共に市民のニーズも多種多様となり、近隣市に大規模かつ機能的な図書館が建てられるなか、開架・閉架スペースが不足し、くつろいで本を読める空間が少ないなど、時勢的・機能的にも課題がでてきた。
- 平成21年度から図書館の現状と課題をまとめ、図書館のあり方、課題解決のための充実策、方向性を検討してきた。平成25年度に「守山市立図書館整備基本計画検討委員会」を設置。具体的な整備方法および内容を検討し、平成26年7月『守山市立図書館整備基本計画報告書』が提出された。その報告書に基づき本計画を策定。

## 計画の概要

### 第1章 計画策定の趣旨

図書館の役割は市民の「知る権利」を保障し、学習を支えることで人々が豊かに幸せにくらすことを支援すること、また少子高齢化・高度情報化・国際化が進展する社会情勢のなかで、市民に多種多様な資料を提供する情報センターとして、また生涯学習を促進する施設としてなくてはならないものである、と同時に、学んだことを活かし表現する場である。そのように図書館を充実するための整備計画である。

### 第2章 守山市立図書館の現状と課題

**運営面** 住民の求める多種多様な資料不足、中・高校生の利用が少ない、ITを活用したサービス

**施設面** 老朽化（雨漏り、空調設備）、ゆったりとした閲覧スペース・憩いのスペース・書庫・駐車場の不足、ユニバーサルデザイン対応

### 第3章 課題解決の方向性

●蔵書38万冊、雑誌タイトル280を最終目標とする

●整備の方向性

**整備場所**・・・国のリノベーション事業を活用し補助金を受けて整備すること、拡張用地を含めると整備諸元を満たす整備ができ、駐車場も増やせること、目田川河川公園や成人病センターからのアクセスもよく、誰もが気軽に来館でき、駅から市民運動公園までの川に沿った回廊を意識し、公園・病院と一体となった魅力的な空間を図書館が核となり創出できることなどから現在の場所に整備することとする。

**整備方法**・・・増築・改修と改築を比較するとコストは高くなるが敷地内を有効活用し建物を自由に設計できることで市民ニーズにより合わせた整備ができ今後の維持管理面

などの利点も多いことから全面改築とする。

### 概算事業費・・・約 19 億 8, 000 万円

当該事業費は、検討委員会で増築・改修および改築の比較検討において、改築の場合の事業費として想定したものである。その財源として、補助対象経費の 1/2 の国庫補助を見込んでいる。(整備にあたり、実施年度等の状況において積算の見直しはある)

### 今後のスケジュール

平成 27 年・28 年度に基本設計および実施設計に取り組み、平成 29 年度にかけて改築工事を予定。

## 第4章 今後の図書館整備内容について

基本コンセプト・・・「本と人が出会い、人と人がつながる知の広場」

《市民の8割の方が利用してくださることを目指します》

### ①「本と出会い心豊かに過ごせる図書館づくり」

- ◆多種多様で豊富な資料の提供
- ◆ゆったりとした閲覧スペースと各種コーナーづくり



- ◆レファレンスサービスの充実

### ②「多くの人が集い地域の活力となる図書館づくり」

- ◆青少年が集う場づくり
- ◆文化・芸術・市民活動の促進
- ◆地域情報の収集と発信

### ③「人と人がつながる図書館づくり」

- ◆児童サービスの充実
- ◆子育て支援サービス
- ◆健康医療情報サービス
- ◆起業就労支援サービス
- ◆身近な所での本の受け渡し
- ◆高齢者・障害者サービス

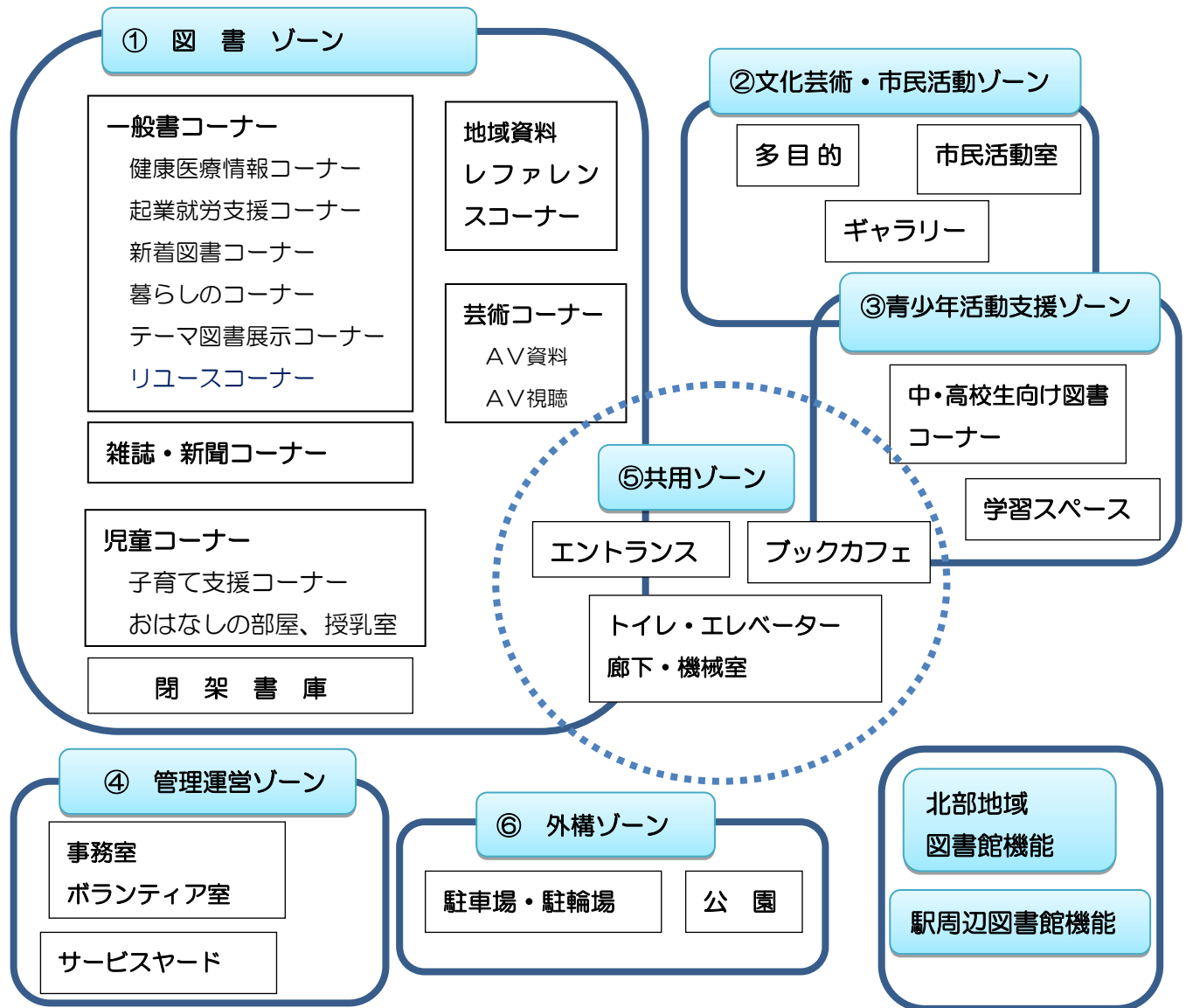
### サービスを展開するために

司書がカウンターからフロアに出て  
書架の間をめぐり本の案内人となる

司書が団体・グループなどと連携し  
様々な活動をコーディネートする

司書が地域に出向き、課題を見つけそ  
の解決を促すサービスを展開させる

具体的な整備 6つのゾーン 「図書」「文化芸術・市民活動」「青少年活動支援」  
「管理運営」「共用」「外構」



## 新図書館の特徴

- ☆閲覧スペースの拡充
- ☆学習スペース
- ☆多目的室
- ☆活動室（防音室含む）
- ☆おはなしの部屋
- ☆授乳室
- ☆ボランティア室
- ☆ミニギャラリー
- ☆ブックカフェ
- ☆AV視聴コーナー
- ☆ティーンズコーナー
- ☆自動貸し出し機
- ☆IT環境の充実
- ☆健康医療情報コーナー
- ☆起業就労支援コーナー
- ☆子育て支援コーナー

☆蔵書38万冊（最終目標、現在約30万冊）

☆雑誌280タイトル（現在163）

☆AV資料（個人貸出し用）

